

令和元年度草津市水道事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、平成22年度に策定し、平成27年度に中間見直しを行いました「草津市水道ビジョン」に基づき、「安全で良質な水道水を安定的に供給する」という基本使命を果たしていくとともに、本市の水道事業が直面している施設や管路の老朽化と水需要の減少傾向などの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めています。

本年度は、施設面では、昨年度に引き続きロクハ浄水場新館の耐震工事を実施し、管路面では、災害などの非常時にも安定して水を供給できるよう耐震化を目的とした更新工事を実施しました。また、令和4年度からの第2次水道ビジョンで持続可能な水道事業を実現するため、令和2年度までの2年間で、中長期的な更新需要および財政収支の見通しを検討するアセットマネジメントを実施しております。

組織体制面では、熟練者から若年者への内部研修の実施や各種外部研修への参加などにより、技術承継を図りました。

経営面では「草津市水道事業経営計画」に基づき、水道料金の10%還元を継続実施しました。人口増とともに有収水量が増加しましたが、今後の施設更新需要の増加や節水型社会の進行を踏まえ、引き続き効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組み、水道水の安全性とおいしさのPRを行うなど利用促進に努めてまいります。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,666万 m^3 で前年度比1.1%減、有収水量については約1,570万 m^3 で前年度比0.2%増、有収率は前年度より1.3ポイント増加して94.3%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持していますが、継続的に実施している主要配水管を対象とした漏水調査や、計画的な老朽管更新を推し進めることによって、無効水量の減少、有収率の向上に努めていきます。

収益的収支の状況については、収益額が24億3,140万3,469円、費用額が21億3,444万1,943円で、差引2億9,696万1,526円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、減債積立金に1億4,848万円を積み立て、1億4,848万1,526円を建設改良積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額9億3,824万4,076円に対し、支出額は20億9,867万7,100円となり、差引11億6,043万3,024円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1億815万8,528円、減債積立金1億7,597万円、建設改良積立金4億801万4,674円ならびに損益勘定留保資金4億6,828万9,822円で補てんしました。

なお、建設改良費のうち平野草津線配水管更新他工事2件については、地方公営企業法第26条第1項の規定により1億6,328万1,000円を、営業費用のうち同工事については、同法第26条第2項ただし書の規定により99万2,000円を令和2年度に繰り越しました。

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	増減比率	
給 水 件 数	34,983 件	34,620 件	363 件	1.0 %	
配 水 量	総 量	16,659,842 m^3	16,844,874 m^3	\triangle 185,032 m^3	\triangle 1.1 %
	一日最大	49,164 m^3	51,747 m^3	\triangle 2,583 m^3	\triangle 5.0 %
	一日平均	45,519 m^3	46,150 m^3	\triangle 631 m^3	\triangle 1.4 %
有 収 水 量	15,702,304 m^3	15,672,499 m^3	29,805 m^3	0.2 %	
有 収 率	94.3 %	93.0 %	1.3 %	—	